



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 世紀東急工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 平 喜一
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員財務部長（氏名） 川野 隆紀 TEL 03-6770-4020
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	42,983	△3.8	2,222	47.3	2,208	50.8	1,503	60.7
2025年3月期中間期	44,682	12.7	1,509	52.0	1,464	45.4	935	8.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,539百万円（ 65.6%） 2025年3月期中間期 929百万円（ 1.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	41.06	—
2025年3月期中間期	25.64	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	78,928	41,595	52.7	1,135.49
2025年3月期	82,556	41,692	50.5	1,138.86

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 41,595百万円 2025年3月期 41,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,300	2.0	6,600	13.0	6,400	10.6	4,600	18.3	125.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	37,424,507株	2025年3月期	37,424,507株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	792,138株	2025年3月期	815,440株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	36,619,068株	2025年3月期中間期	36,476,872株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は2025年11月28日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 2026年3月期の個別業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,700	1.3	5,800	11.7	4,200	20.4	114.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
中間期個別受注の概況	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調を辿りましたが、一方では、物価上昇の継続や米国の政策動向などへの懸念により、先行き不透明感が高まる状況となりました。

道路建設業界におきましては、公共投資は堅調さを維持したものの、原材料や燃料価格が依然として高値圏で推移しており、予断を許さない事業環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、『2030年のあるべき姿』を示す長期ビジョンおよび現行の「中期経営計画（2024-2026年度）」に基づき、事業基盤のさらなる強靱化に努めるとともに、社会課題解決に貢献するサステナブル経営の推進にも注力してまいりました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、受注高（製品売上高およびその他の売上高を含む）は53,292百万円（前年同期比18.5%増）、売上高は42,983百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

損益面につきましては、経常利益は2,208百万円（前年同期比50.8%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は1,503百万円（前年同期比60.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

なお、完成工事高、売上高および営業利益（セグメント利益）についてはセグメント間の内部取引高等を含めた調整前の金額をそれぞれ記載しております。

「建設事業」

建設事業につきましては、官公庁発注の大型工事を複数受注したことなどにより、受注高は43,362百万円（前年同期比19.2%増）となりましたが、工事の進捗状況等の影響により、完成工事高は33,053百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は2,675百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

「舗装資材製造販売事業」

舗装資材製造販売事業につきましては、原材料価格が高値圏で推移する中で、販売価格への転嫁が進展したことなどにより、製品売上高は15,791百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は1,395百万円（前年同期比389.1%増）となりました。

「その他」

当社グループでは、自動車等のリース事業や売電事業などを営んでおり、その他の売上高は514百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は114百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し3,627百万円減少の78,928百万円となりました。売上債権が減少したことなどにより流動資産は3,332百万円の減少となり、また、固定資産は294百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し3,530百万円減少の37,333百万円となりました。仕入債務が減少したことなどにより流動負債は3,543百万円の減少となり、また、固定負債は13百万円の増加となりました。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益1,503百万円を計上しましたが、期末配当金の支払などにより、前連結会計年度末と比較し96百万円減少の41,595百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間におきましては、税金等調整前中間純利益2,179百万円を計上したことに加え、売上債権の回収が進んだことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは11,682百万円の資金増加（前年同期は2,882百万円の資金増加）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間におきましては、アスファルト合材工場の設備更新に伴う支出などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは706百万円の資金減少（前年同期は608百万円の資金減少）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間におきましては、期末配当金の支払などにより、財務活動によるキャッシュ・フローは1,596百万円の資金減少（前年同期は1,590百万円の資金減少）となりました。

以上に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ9,378百万円増加し、17,130百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績動向等を踏まえ、2025年8月5日に公表した通期の業績予想を修正いたしております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	7,751	17,130
受取手形・完成工事未収入金等	40,571	28,161
未成工事支出金	75	150
材料貯蔵品	344	402
その他	2,489	2,058
貸倒引当金	-	△1
流動資産合計	51,233	47,900
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	13,334	13,242
機械、運搬具及び工具器具備品	23,531	23,678
土地	14,744	14,744
建設仮勘定	1	73
減価償却累計額	△25,679	△26,058
有形固定資産合計	25,932	25,680
無形固定資産	269	257
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	3,631	3,696
その他	1,489	1,393
投資その他の資産合計	5,120	5,089
固定資産合計	31,322	31,028
資産合計	82,556	78,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,359	19,358
短期借入金	5,106	5,202
未払法人税等	1,354	589
未成工事受入金	797	1,726
完成工事補償引当金	127	40
工事損失引当金	28	42
賞与引当金	1,613	1,773
その他	4,269	4,380
流動負債合計	36,656	33,112
固定負債		
長期借入金	1,600	1,550
退職給付に係る負債	2,525	2,588
その他	81	81
固定負債合計	4,207	4,220
負債合計	40,863	37,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	623	639
利益剰余金	38,421	38,253
自己株式	△671	△652
株主資本合計	40,373	40,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	185
為替換算調整勘定	△38	△18
退職給付に係る調整累計額	1,220	1,188
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,355
純資産合計	41,692	41,595
負債純資産合計	82,556	78,928

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	44,682	42,983
売上原価	40,212	37,611
売上総利益	4,470	5,372
販売費及び一般管理費	2,961	3,149
営業利益	1,509	2,222
営業外収益		
受取利息	1	11
受取配当金	2	8
受取賃貸料	10	10
為替差益	-	6
雑収入	14	14
営業外収益合計	28	50
営業外費用		
支払利息	29	42
支払保証料	21	13
雑支出	22	9
営業外費用合計	73	65
経常利益	1,464	2,208
特別利益		
固定資産売却益	8	2
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	19	31
減損損失	1	-
特別損失合計	21	31
税金等調整前中間純利益	1,451	2,179
法人税等	516	675
中間純利益	935	1,503
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	935	1,503

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	935	1,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	48
為替換算調整勘定	17	20
退職給付に係る調整額	△13	△32
その他の包括利益合計	△5	36
中間包括利益	929	1,539
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	929	1,539
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,451	2,179
減価償却費	986	926
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△69	159
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10	△110
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	61
受取利息及び受取配当金	△4	△20
支払利息	29	42
有形固定資産売却損益(△は益)	△7	△2
有形固定資産除却損	19	31
減損損失	1	-
売上債権の増減額(△は増加)	850	12,410
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△61	△75
仕入債務の増減額(△は減少)	157	△4,001
未成工事受入金の増減額(△は減少)	809	929
その他	△391	415
小計	3,758	12,947
利息及び配当金の受取額	4	20
利息の支払額	△26	△37
法人税等の支払額	△853	△1,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,882	11,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△591	△689
有形固定資産の売却による収入	9	5
その他	△26	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	97	96
長期借入金の返済による支出	△50	△50
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,637	△1,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,590	△1,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	679	9,378
現金及び現金同等物の期首残高	13,440	7,751
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,119	17,130

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	舗装資材 製造販売 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,082	8,547	44,629	53	—	44,682
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,631	6,631	441	△7,073	—
計	36,082	15,178	51,261	495	△7,073	44,682
セグメント利益	2,924	285	3,209	91	△1,791	1,509

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない本社管理部門等の一般管理費
△1,777百万円であります。

(注) 3 セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	舗装資材 製造販売 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,053	9,861	42,914	69	—	42,983
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,930	5,930	445	△6,375	—
計	33,053	15,791	48,844	514	△6,375	42,983
セグメント利益	2,675	1,395	4,071	114	△1,962	2,222

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない本社管理部門等の一般管理費
△1,954百万円であります。

(注) 3 セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

中間期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
2026年3月期中間期	50,272百万円	18.5%
2025年3月期中間期	42,431百万円	△8.8%

（注）①受注高は、当該中間期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同中間期比較増減率

受注実績の内訳

（単位：百万円）

区 分			前第2四半期 (2025年3月期 中間期)		当第2四半期 (2026年3月期 中間期)		増 減		前 期 (2025年3月期)	
			金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%
受 注 高	建 設 部 門	国内官公庁	9,607	22.6	13,967	27.8	4,359	45.4	25,482	28.3
		国内民間	24,040	56.7	26,303	52.3	2,262	9.4	45,095	50.1
		計	33,648	79.3	40,270	80.1	6,622	19.7	70,577	78.4
	製 品 部 門 等		8,782	20.7	10,001	19.9	1,218	13.9	19,393	21.6
	合 計		42,431	100.0	50,272	100.0	7,841	18.5	89,971	100.0